

自然体験活動のリスクマネジメント

1. 制定の背景

日本の学校教育は、大きく「知・徳・体」の分野で構成されており、生涯学習においてもこの要素は重要なキーワードといえます。また、青少年教育では「協調性」や「自立性」、「規範」、「意欲」等を評価指標とする発育段階に応じた体験活動があり、青年期に至るまで継続的な「生きる力」の向上が求められています。

数十年前までは、この日本においても刃物や裸火が日常生活において必需であり、成人だけでなく子どももその取り扱いについては熟知しておりました。生活の近代化と共にそのような行為は「危険」要素と位置づけられ、排除する傾向となり、危険からの回避が多くなることで青少年期の体験活動にも支障をきたしているのではないかと憂慮しています。地震災害のような大自然の驚異に対峙した際、改めて人として冷静な対処ができることの重要性に気付き、様々な世代における「知識・技能・心構え」を育む自然体験活動の有用性に深い理解を示すこととなるのでしょうか。

そこで、自然体験活動における「リスクマネジメント」を定義し制度化することで、自然体験活動の安全性と共に事業運営する組織や団体の信頼性を社会に対し担保していきたいと考えました。

2. 指導者養成制度

自然体験活動推進協議会（CONE）では、平成25年度より自然体験活動のリスクマネジメントについて役割に応じた研修と資格付与を開始しました。

*組織や団体の責任者：リスクマネジャー

*活動現場での責任者：リスクマネジメントディレクター

また、三段階の指導者養成講座を開設することとし、自然体験活動に従事する指導者や組織管理者に対し新たな視点での安全管理の在り方を啓発すると共に、実際に安心安全な自然体験活動が提供できるよう努めることとした。

*リスクマネジメント講習会（2.5時間）

広く一般を対象に、自然体験活動における安全管理の在り方を知る講座。

*リスクマネジメントディレクター養成研修会（9時間）

活動現場での安全管理者を養成するための講座

リスクマネジメント講習会を受講しての参加が望ましい。

*リスクマネジャー養成研修会（11時間）

活動だけでなく組織運営全体に関する安全管理者を養成する講座

リスクマネジメントディレクター有資格者が参加できる。

3. 講座内容

* リスクマネジャー及びリスクマネジメントディレクター養成研修会
§ 1 リスクマネジメント概論、 § 2 活動におけるリスクマネジメント
§ 3 事故事例の研究、 § 4 ヒューマンエラー、 § 5 緊急事態への対応、
§ 6 安全管理体制、 § 7 アクションプランと検定、 § 8 ふりかえり

* リスクマネジメント講習会

§ 1 リスクマネジメントとは、 § 2 リスクのチェックポイント
§ 3 事故事例とリスク回避、 (§ 4 フィールドでのリスクマネジメント)

4. 安全の基本要素

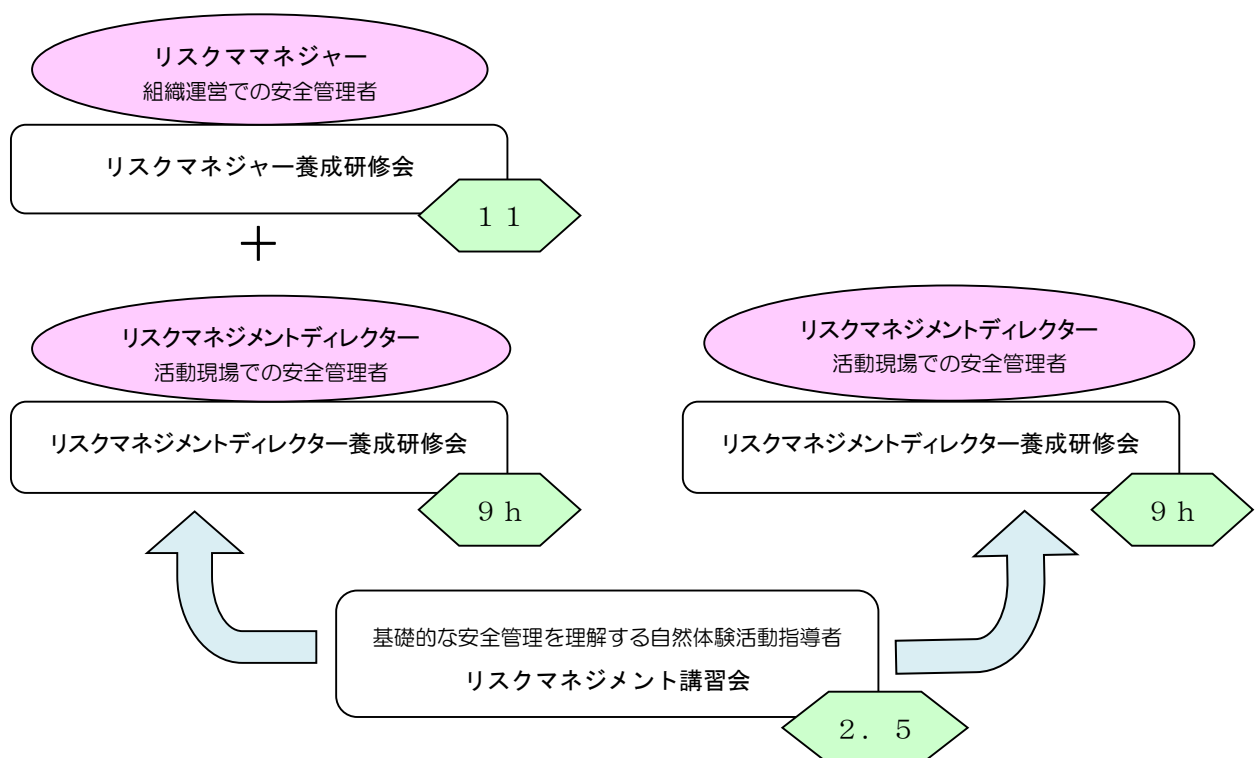
* 安全の3原則

①先取優位（安全第一） ②自守 ③規範・道徳

* 安全管理の4本柱（CONEとして定義）

①安全管理マニュアルの整備 ②定期的なスタッフトレーニング
③保険の加入 ④リスクマネジャー（安全管理者）の配置

リスクマネジメント研修と資格



凡 例 研修名： 研修時間： 資格名と役割：